

## 第66回 市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会 の展望

(資料提供 神奈川県陸上競技協会)

### 横浜市の3連覇が濃厚

横浜市は中学生、女子選手を除いた5000mの記録で、14分20秒台の好記録を持つ選手を揃え、大会記録更新に期待が懸かる。

初出場の星野 光汰選手(専修大学)は、長距離選手として神奈川県で活躍した両親を持ち、父親譲りの粘り強い、諦めない走りに期待が高い。次に、昨年高校生ながら5区で区間賞を獲得した坂本貴則選手(明治大学)が一段と力をつけ、今回はポイントとなる区間に抜擢されると思われる。中学生は県内無敵の平岡アンディ選手(万騎が原中学校)が、今季ジュニアオリンピック3000mで、8分43秒82の記録を出しており、他の選手を圧倒している。女子選手では、全国高校女子駅伝6位入賞に貢献した上原 明悠美選手(白鵬女子高校)、一般では「帰省地選手」として3回目となるプレス工業の今村 俊選手、今村 慧選手がエントリーしており、全く隙のないメンバーで、完全優勝をうかがわせる布陣で臨んできた。

横浜と並ぶ優勝候補の藤沢市は、プレス工業の橘 明德選手と、ニューイヤー駅伝では最長区間を任された坂本 智史選手の2名がチームを引っ張る。昨年区間3位と好走した、槻澤 翔選手(東京経済大学)を前半に起用して、横浜市との激しい競り合いを制したい。

この2チームを追う一番手に挙げられるのは茅ヶ崎市であろう。3年ぶりの出場となる川崎 健太選手(スズキ)は大学時代、箱根駅伝の山登りでしっかりと結果を残した。現在は、トラック競技会やロードレースに出場している。さらに石原 洸選手(新電元工業)の存在が大きい。昨年は6区の長丁場で区間賞、一時はチームを3位まで押し上げる健闘を見せた。大学生選手も確実に記録を伸ばしており、昨年以上の成績を残せると期待している。

相模原市は、山口国体1500mで準優勝した高谷 将弘選手(JR東日本)を呼び寄せた。スピードある走りをロードレースに活かしたい。篠崎 洸太選手(警視庁)はロード、駅伝にめっぽう強く、起伏に富んだコースもこなせるので、どの区間も安心して任せられる。

選手確保に苦勞した川崎市であるが、矢澤 曜選手(早稲田大学)をエントリー。アキレス腱を痛め、箱根駅伝や広島での全国都道府県対抗男子駅伝では本来の力を発揮できなかったが、63回大会川崎市優勝メンバーの意地を見せたい。平山 雄大選手(明治大学)、吉田 潤選手(CREST)の走りが鍵を握る。

今回最も注目される選手は、大和市の五十嵐 祐太選手(JR東日本)。実業団1年目であるが、好不調なく安定しており、精神的にも強く、将来が楽しみな選手である。

秦野市をスタートに、7区間として10年目。この間、帰省地選手制度を取り入れるなどして、各チームのタイムも近接してきた。神奈川の長距離選手育成に資する大会であることはもちろんであるが、各選手の「わがまちの代表」としての誇りを胸にした、熱い走りを期待する。

## 町村の部について

前年度のメンバーと全く変更のない大井町が優位に立っている。主力となる岩本 瑛吾選手（足柄上郡陸協）は、大井町役場に勤務し、平日の練習は他の選手に比べて少ないが、小柄でバランスのとれたフォームが魅力で、昨年同様6区の難所区間に配置されると思われる。また、大学の厳しい練習で確実に力をつけた、覚張 昌聴選手（帝京大学）の存在も大きい。

葉山町は川村 駿吾選手（青山学院大学）。学生生活最後の箱根駅伝は、不本意な成績であったようだ。卒業後も実業団で走り続けるにしても、ここはしっかりと走っておきたいところ。葉山町としては、前半の貯金を維持するためにも、他選手の踏ん張りに期待したい。

この2チームに比べると、他の町村は4分ほどの差があると思われる。昨年3位と健闘した大磯町が、大幅な選手入れ替えもなく順調にいけば、昨年並みの成績は残せるだろう。

## 予想される各区間の見所について

- 1区 中学男子区間であり、横浜市の平岡アンディ選手（万騎が原中学校）が強い。大柄でスケールの大きいフォームは中学生離れしている。スタート直後に先頭に立ち、後続を引き離しにかかるであろう。箱根町の大泉 奨選手（箱根中学校）も力を持っているので、秒差の接戦を期待したい。2人に続くのは藤沢市の遠藤 宏夢選手（滝の沢中学校）。昨年の区間5位を上回る走りで、区間賞争いに加わりたい。
- 2区 チームのエース格とされる選手が集まり、順位の入替わる区間である。首位争いは横浜市と藤沢市に相模原市が絡む展開が予想される。実力に勝る藤沢市の橘 明德選手（プレス工業）を中心に、競り合いが中継所近くまで続くと思われる。相模原市の篠崎 洸太選手（警視庁）も加え、序盤の熱い戦いに期待したい。また、葉山町の川村 駿吾選手（青山学院大学）も上位に加わってくるであろう。
- 3区 横浜市の今村 慧選手（プレス工業）と藤沢市の槻澤 翔選手（東京経済大学）の走りに注目。昨年は互いに譲らず、同順位で襷が渡ったが、今回は決着がつくか。さらに相模原市の高谷 将弘選手（JR東日本）も怖い存在であり、スピードを生かした走りで追い上げを見せるであろう。また、川崎市の矢澤 曜選手（早稲田大学）がどこまで肉薄するか見所である。
- 4区 ここでは、横浜市の上原 明悠美選手（白鵬女子高校）が一步リードしている。全国大会を経験し、一層自信をつけている。高校の先輩でもある藤沢市の尾形 ひとみ選手（東京農業大学）の意地にも期待したい。区間賞争いは、川崎市の中村 璃花選手（白鵬女子高校）、横須賀市の尾崎 聡美選手（白鵬女子高校）らも加え、8分40秒台を期待している。
- 5区 やや距離の短い区間ではあるが、各チーム高校生中心のスピードランナーを起用することが予想され、レース終盤に向けた好位置争いは見ごたえがある。
- 6区 起伏のある難しいコースで、真の力が試される区間であるが、注目の選手、大和市の五十嵐 祐太選手（JR東日本）が区間記録更新を狙う。箱根駅伝の山登りも経験済みでブレーキもない。茅ヶ崎市の石原 洸選手（新電元工業）との区間賞争いと共に、難所区間に対応できる新たな選手の登場も楽しみである。
- 7区 横浜市は坂本 貴則選手（明治大学）が予想される。昨年5区区間賞を獲っており、起伏の有るコースを苦しめない走りで、今年も区間賞を狙う。「横浜市のチーム三連覇なるか！」「阻むのはどのチームか！」「入賞争いの行方は！」。最後まで目の離せないレース展開が期待される。